

【新改訳改訂第3版】 **マタイの福音書**

27:15 ところで総督は、その祭りには、群衆のために、いつも望みの囚人をひとりだけ赦免してやっていた。

27:16 そのころ、バラバという名の知れた囚人が捕らえられていた。

27:17 それで、彼らが集まったとき、ピラトが言った。「あなたがたは、だれを釈放してほしいのか。バラバか、それともキリストと呼ばれているイエスか。」

27:18 ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことに気づいていたのである。

27:19 また、ピラトが裁判の席に着いていたとき、彼の妻が彼のもとに人をやって言させた。「あの正しい人にはかかわり合わないでください。ゆうべ、私は夢で、あの人のことで苦しいめに会いましたから。」

27:20 しかし、祭司長、長老たちは、バラバのほうを願うよう、そして、イエスを死刑にするよう、群衆を説きつけた。

27:21 しかし、総督は彼らに答えて言った。「あなたがたは、ふたりのうちどちらを釈放してほしいのか。」彼らは言った。「バラバだ。」

27:22 ピラトは彼らに言った。「では、キリストと言われているイエスを私はどのようにしようか。」彼らはいっせいに言った。「十字架につける。」

27:23 だが、ピラトは言った。「あの人がどんな悪い事をしたというのか。」しかし、彼らはますます激しく「十字架につける」と叫び続けた。

27:24 そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなのを見て、群衆の目の前で水を取り寄せ、手を洗って、言った。「この人の血について、私には責任がない。自分たちで始末するがよい。」

27:25 すると、民衆はみな答えて言った。「その人の血は、私たちや子どもたちの

上にかかってもいい。」

27:26 そこで、ピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスをむち打ってから、十字架につけるために引き渡した。

【新改訳改訂第3版】 **マルコの福音書**

15:6 ところでピラトは、その祭りには、人々の願う囚人をひとりだけ赦免するのを例としていた。

15:7 たまたま、バラバという者がいて、暴動のとき人殺しをした暴徒たちというしよに牢に入っていた。

15:8 それで、群衆は進んで行って、いつものようにしてもらうことを、ピラトに要求し始めた。

15:9 そこでピラトは、彼らに答えて、「このユダヤ人の王を釈放してくれというのか」と言った。

15:10 ピラトは、祭司長たちが、ねたみからイエスを引き渡したことに、気づいていたからである。

15:11 しかし、祭司長たちは群衆を扇動して、むしろバラバを釈放してもらいたいと言させた。

15:12 そこで、ピラトはもう一度答えて、「ではいったい、あなたがたがユダヤ人の王と呼んでいるあの人を、私にどうせよというのか」と言った。

15:13 すると彼らはまたも「十字架につける」と叫んだ。

15:14 だが、ピラトは彼らに、「あの人がどんな悪い事をしたというのか」と言った。しかし、彼らはますます激しく「十字架につける」と叫んだ。

15:15 それで、ピラトは群衆のきげんをとろうと思い、バラバを釈放した。そして、イエスをむち打って後、十字架につけるようにと引き渡した。

【新改訳改訂第3版】 **ルカの福音書**

23:13 ピラトは祭司長たちと指導者たちと民衆とを呼び集め、

23:14 こう言った。「あなたがたは、この人を、民衆を惑わす者として、私のところに連れて来たけれども、私があなたがたの前で取り調べたところ、あなたがたが訴えているような罪は別に何も見つけられません。」

23:15 ヘロデとても同じです。彼は私たちにこの人を送り返しました。見なさい。この人は、死罪に当たることは、何一つしていません。」

23:16 だから私は、懲らしめたくらうで、釈放します。」

23:18 しかし彼らは、声をそろえて叫んだ。「この人を除け。バラバを釈放しろ。」

23:19 バラバとは、都に起こった暴動と人殺しのかどで、牢に入っていた者である。

23:20 ピラトは、イエスを釈放しようと思って、彼らに、もう一度呼びかけた。

23:21 しかし、彼らは叫び続けて、「十字架だ。十字架につける」と言った。

23:22 しかしピラトは三度目に彼らにこう言った。「あの人がどんな悪いことをしたというのか。あの人には、死に当たる罪は、何も見つけられません。だから私は、懲らしめたくらうで、釈放します。」

23:23 ところが、彼らはあくまで主張し続け、十字架につけるよう大声で要求した。そしてついにその声が勝った。

23:24 ピラトは、彼らの要求どおりにすることを宣告した。

23:25 すなわち、暴動と人殺しのかどで牢に入っていた男を願いどおりに釈放し、イエスを彼らに引き渡して好きなようにさせた。

18:39 しかし、過越の祭りに、私があなたがたのためにひとりの者を釈放するのがならわしになっています。それで、あなたがたのために、ユダヤ人の王を釈放することにしましょうか。」

18:40 すると彼らはみな、また大声をあげて、「この人ではない。バラバだ」と言った。このバラバは強盗であった。

19:1 そこで、ピラトはイエスを捕らえて、むち打ちにした。

19:2 また、兵士たちは、いばらで冠を編んで、イエスの頭にかぶらせ、紫色の着物を着せた。

19:3 彼らは、イエスに近寄っては、「ユダヤ人の王さま。ばんざい」と言い、またイエスの顔を平手で打った。

19:4 ピラトは、もう一度外に出て来て、彼らに言った。「よく聞きなさい。あなたがたのところにあの人を連れ出して来ます。あの人に何の罪も見られないということを、あなたがたに知らせるためです。」

19:5 それでイエスは、いばらの冠と紫色の着物を着けて、出て来られた。するとピラトは彼らに「さあ、この人です」と言った。

19:6 祭司長たちや役人たちはイエスを見ると、激しく叫んで、「十字架につける。十字架につける」と言った。ピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、十字架につけなさい。私はこの人には罪を認めません。」

19:7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちには律法があります。この人は自分を神の子としたのですから、律法によれば、死に当たります。」

19:8 ピラトは、このことばを聞くと、ますます恐れた。

19:9 そして、また官邸に入って、イエスに言った。「あなたはどこの人ですか。」しかし、イエスは彼に何の答えもされな

かった。

19:10 そこで、ピラトはイエスに言った。「あなたは私に話さないのですか。私にはあなたがたを釈放する権威があり、また十字架につける権威があることを、知らないのですか。」

19:11 イエスは答えられた。「もしそれが上から与えられているのでなかったら、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。ですから、わたしをあなたに渡した者に、もっと大きい罪があるので。」

19:12 こういうわけで、ピラトはイエスを釈放しようと努力した。しかし、ユダヤ人たちは激しく叫んで言った。「もしこの人を釈放するなら、あなたはカイザルの味方ではありません。自分を王だとする者はすべて、カイザルにそむくのです。」

19:13 そこでピラトは、これらのことばを聞いたとき、イエスを外に引き出し、敷石(ヘブル語ではガバタ)と呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。

19:14 その日は過越の備え日で、時は第六時ごろであった。ピラトはユダヤ人たちに言った。「さあ、あなたがたの王です。」

19:15 彼らは激しく叫んだ。「除け。除け。十字架につける。」ピラトは彼らに言った。「あなたがたの王を私が十字架につけるのですか。」祭司長たちは答えた。「カイザルのほかには、私たちに王はありません。」

19:16 そこでピラトは、そのとき、イエスを、十字架につけるため彼らに引き渡した。